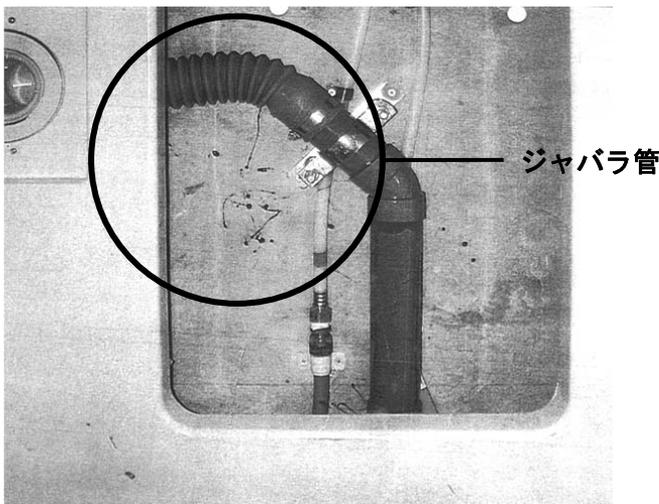


ユニットバスのリフォームでのご注意

先般、ユニットバスのリフォーム工事を完了のお宅からご提出の施工写真に、不適切な施工状況が写っているものがありました。管理組合よりお話し、リフォーム業者によって是正されましたが、同様のことが起きないように連絡いたします。

「リフォーム・マニュアル」【技術資料】の中でユニットバスの排水管として硬質塩化ビニル管（VP）の使用を指定しています。これは VP 管が強度、浴室から排水される湯温への耐熱性、毎年実施の定期排水管洗浄への耐久性などを満足することによります。

上記のお宅のユニットバスのリフォーム工事の排水管は、洗い場の排水口のトラップと排水枝管の間に図 1 のようにジャバラ管が用いられていました。



【図の説明】

左上が洗い場の排水口のトラップ。そこから排水横枝管（下側）の間に排水管として不適なジャバラ管が用いられている。

図 1 不適切な排水管の状況

ジャバラ管を用いると下記の問題が生じます。

- 1) ジャバラ管内部に汚れが堆積し、排水管を詰まらせる原因となる。
- 2) ジャバラ管は繰り返しの温度変化などの耐久性に乏しく、隠蔽部分には不適。
- 3) ジャバラ管は強度的に不十分で定期排水管洗浄で漏水事故の原因となる。

上記のお宅のユニットバスのリフォームを行った業者はマニュアルの【技術資料】に基づいて施工を行うとの誓約書を出していますが、結果として上述の施工を行いました。

リフォーム業者に任せきりとせず、特に床下に隠れてしまう給排水管が正しく施工されているか、必ず、確認するようにしてください。加えて隠蔽前の配管状況がわかる写真を撮影され（業者に依頼も可）、工事完了後、管理事務室にご提出ください。本号で報告のように不具合の是正につなげられることもあります。